

消費増税前の駆け込み需要は……実はなかった！ 72.3%が『駆け込み消費はしない！』と回答 全国の成人男女 300 名に対し「増税前の駆け込み需要に関する調査」を実施

コミュニケーションデザイン総合研究所は、全国の成人男女300名に対し「増税前の駆け込み需要に関する調査」を実施しました。調査結果から消費増税前の駆け込み需要と、増税後の節約について、消費者の本音が明らかになりました。

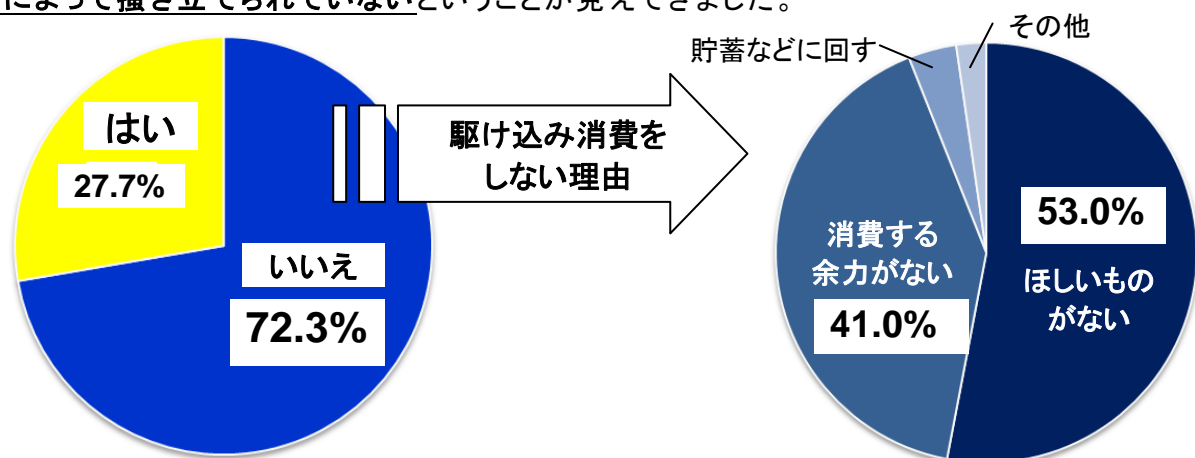
コミュニケーションデザイン総合研究所が行った調査によると、次のことがわかりました。

1. 消費増税前の駆け込み需要を検討している人は3割にも行かず、7割以上が『駆け込み消費をする予定がない』と回答。その理由としてもっとも多いのは、『ほしいものがない(約5割)』。
2. 約8割の人が『増税後は節約を意識する』と返答。節約対象となるのは、『食費』『水道光熱費』『趣味・遊興費』の順。
3. 増税後、節約を意識する金額の基準は、『1,000円未満』で約4割。9割弱の人が10,000円未満で節約を意識することが判明。

■ 調査結果詳細

1. 7割以上の人が『増税前に駆け込み消費をしない予定』と回答

駆け込み需要が好景気につながるという報道が多い中、「あなたは増税前に駆け込み消費をする予定ですか？」という質問に対し、**72.3%の消費者が「駆け込み消費をする予定はない」と回答**。駆け込み消費をしない理由としてもっとも多かったのは、「ほしいものがない」の53%で、次いで「そもそも消費する余力がない」が41%でした。これらの結果から、**消費者の購買意欲は増税によって掻き立てられていない**ということが見えてきました。



あなたは増税前に駆け込み消費をする予定ですか？
(既に行いましたか？)(単一回答:n=300)

増税前に駆け込み消費をする予定がないその理由は
何ですか？(単一回答:n=217)

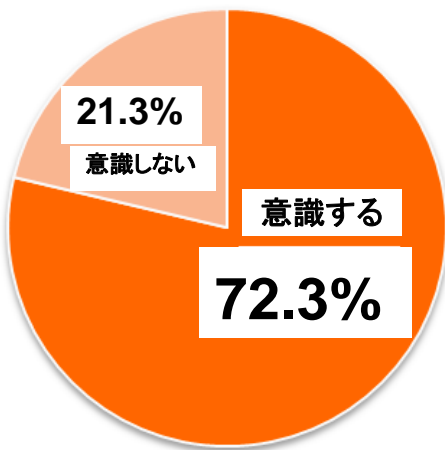
【本件に関するお問い合わせや調査の掲載をいただける場合は、下記までご連絡ください】

コミュニケーションデザイン総合研究所 担当: 落合・寺石

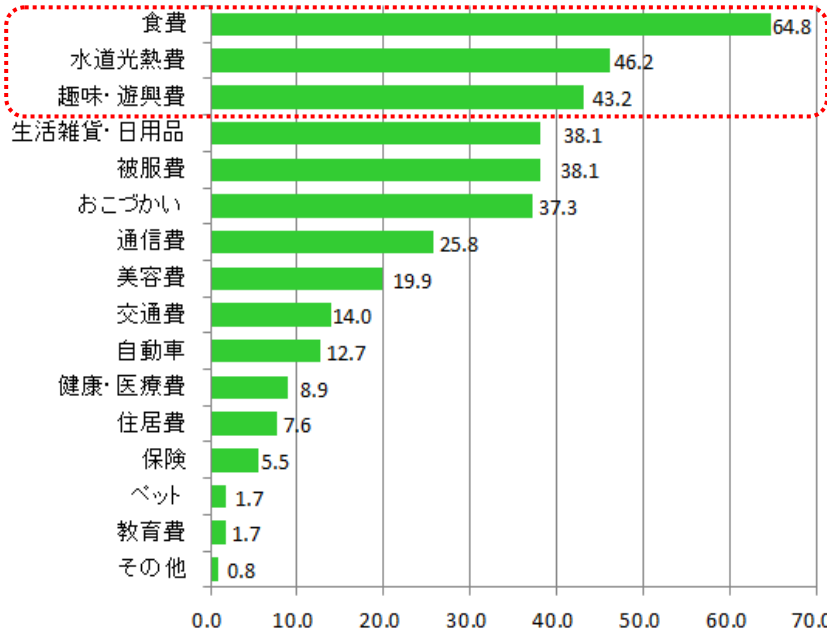
MAIL: ochiai@cd-j.net TEL:03-5545-1661 / FAX:03-5545-1662

2. 約8割の人が『増税後は節約を意識する』と返答。節約対象となるのは、『食費』『水道光熱費』『趣味・遊興費』の順

駆け込み需要に消極的な消費者の実態が見えてきたところで、節約に対する意識はどうなっているのでしょうか？「増税後、節約を意識しますか？」との質問に対し、8割近くの消費者が「増税後、節約を意識する」と回答し、中でも最も節約対象として考えられているものは「食費（64.8%）」だということがわかりました。



増税後、節約を意識しますか？
(単一回答:n=300)

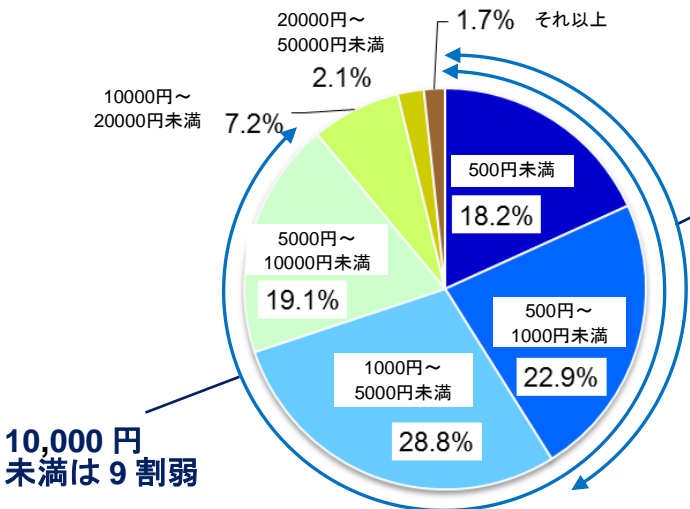


増税後、節約を意識するものは何ですか？
(複数回答:n=236)

3. 増税後、節約を意識する金額の基準は、『1,000円未満』で4割。9割弱の人が10,000円未満で節約を意識することが判明

では、消費者はいったいいくらから節税を意識するのでしょうか？「増税後、買い物する際に節約を意識する金額は、いくらからですか？」との質問に対して、「500円未満」または「500円～

1,000円未満」と回答した人があわせて**41.1%**と**全体の4割以上**におよび、9割弱の人が10,000円未満で節約を意識することが判明しました。



1,000円以下が4割以上！

増税後、買い物する際に節約を意識する金額は、いくらからですか？(単一回答:n=236)

【本件に関するお問い合わせや調査の掲載をいただける場合は、下記までご連絡ください】

コミュニケーションデザイン総合研究所 担当: 落合・寺石

MAIL: ochiai@cd-j.net TEL: 03-5545-1661 / FAX: 03-5545-1662

<調査概要>

調査名 : 増税前の駆け込み需要に関する調査

調査方法 : インターネット調査

調査期間 : 2014年1月22日～1月23日

調査対象 : 成人男女

調査サンプル数 : 300名

<調査主体:コミュニケーションデザイン総合研究所> <http://www.cd-s.info>

株式会社コミュニケーションデザイン(東京都港区、代表取締役社長:玉木剛)内に設置。

ユニークな視点に立った独自の調査・研究を行い、その結果を公開することにより、世の中に「気付き」や「新しい価値基準」を提供。企業活動や消費者がより豊かな生活をおくる事に寄与することを目的としている。

※報道目的のデータの利用は自由ですが、必ず「コミュニケーションデザイン総合研究所調べ」などと明記してください。またその際は下記お問い合わせ先までご一報いただくと幸いです。

【本件に関するお問い合わせや調査の掲載をいただける場合は、下記までご連絡ください】

コミュニケーションデザイン総合研究所 担当:落合・寺石

MAIL:ochiai@cd-j.net TEL:03-5545-1661 / FAX:03-5545-1662